



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月13日

上場会社名 株式会社ラクス 上場取引所 東
 コード番号 3923 URL <https://www.rakus.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 崇則
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略本部長 (氏名) 松嶋 祥文 TEL 03 (5362) 3650
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	4,074	39.8	678	46.9	682	46.5	443	38.5
30年3月期第2四半期	2,914	24.7	462	12.7	465	14.6	320	14.9

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 446百万円 (39.1%) 30年3月期第2四半期 321百万円 (12.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	9.79	—
30年3月期第2四半期	7.07	—

(注) 1. 当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	5,505	4,022	73.1
30年3月期	5,229	3,706	70.9

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 4,022百万円 30年3月期 3,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	5.80	5.80
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	4.15	4.15

(注) 1. 当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、平成30年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載しております。
 2. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,601	34.2	1,376	10.9	1,376	10.3	890	1.7	19.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	31年3月期2Q	45,304,000株	30年3月期	45,304,000株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	296株	30年3月期	256株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	31年3月期2Q	45,303,712株	30年3月期2Q	45,303,827株

(注) 当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成30年11月15日にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する説明資料については、TDnetで決算短信と同時に開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間において、当社がクラウド事業及びIT人材事業を展開する情報通信サービス市場は、労働需給のひっ迫や政府が提唱する働き方改革を背景に業務効率化に貢献するITシステム導入ニーズが持続しており、ITシステムの導入や入れ替えの際に低価格で簡単に導入が可能なクラウドサービスを最初に検討するクラウドファーストの流れが加速しております。

このような経営環境の中、当社グループは「IT技術で中小企業を強くします！」をミッションに掲げ、安定的な高成長を目指して、積極的な成長投資を実施してまいりました。具体的にはクラウド事業において、当社の成長を牽引する交通費・経費精算サービス「楽楽精算」のTVCM等を通じた認知度向上施策の実施や、新規顧客獲得に向けた営業活動の強化を行いました。IT人材事業におきましては、慢性的なITエンジニア不足による顧客企業のニーズに対応するため、人員の増強と育成に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,074,851千円（前年同四半期比39.8%増）、営業利益は678,917千円（前年同四半期比46.9%増）、経常利益は682,287千円（前年同四半期比46.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は443,436千円（前年同四半期比38.5%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①クラウド事業

クラウド事業は、高成長が持続しているクラウド経費精算システム「楽楽精算」への営業及びマーケティング強化を目的とした積極的な投資を行いました。また、「楽楽精算」以外の主要サービスについても安定的な成長が持続しております。以上の結果、売上高は3,119,582千円（前年同四半期比46.4%増）、セグメント利益は577,213千円（前年同四半期比38.3%増）となりました。

②IT人材事業

IT人材事業は、顧客企業側での慢性的なITエンジニア不足を背景に、稼働人員数が増加し売上高が増加しましたが、分社化によるオフィス移転に伴い賃料負担も増加しました。以上の結果、売上高は955,269千円（前年同四半期比22.0%増）、セグメント利益は101,704千円（前年同四半期比127.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,033,730千円となり、前連結会計年度末に比べて231,224千円増加いたしました。これは主に、売掛金が91,842千円、現金及び預金が73,857千円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は2,471,777千円となり、前連結会計年度末に比べて44,429千円増加いたしました。主な要因は、のれんが81,897千円減少したものの、工具、器具及び備品が58,291千円、建物及び構築物が57,767千円、差入保証金が37,796千円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は5,505,508千円となり、前連結会計年度末に比べ275,654千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,359,295千円となり、前連結会計年度末に比べて58,839千円減少いたしました。主な要因は、未払費用が47,445千円増加したものの、未払法人税等が59,933千円、未払消費税等が34,693千円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は123,787千円となり、前連結会計年度末に比べて18,944千円増加いたしました。主な要因は、繰延税金負債が15,159千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,483,082千円となり、前連結会計年度末に比べ39,895千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は4,022,425千円となり、前連結会計年度末に比べ315,550千円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が剰余金の配当により131,380千円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により443,436千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ73,857千円増加し、1,793,033千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ147,311千円増加し、397,842千円の収入となりました。増加の主な内訳は税金等調整前四半期純利益682,103千円、のれん償却額81,897千円、未払費用の増加47,294千円であり、減少の主な内訳は法人税等の支払額287,886千円、売上債権の増加87,201千円、未払金の減少56,251千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ124,485千円減少し、185,434千円の支出となりました。主な要因は、差入保証金の回収による収入1,486千円があったものの、有形固定資産の取得による支出113,832千円、差入保証金の差入による支出61,231千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ40,933千円減少し、141,850千円の支出となりました。主な要因は、配当金の支払額131,380千円、長期借入金の返済による支出10,404千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績見通しについては、平成30年10月16日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,719,176	1,793,033
売掛金	965,905	1,057,748
商品	5,057	5,310
仕掛品	680	—
その他	118,031	184,357
貸倒引当金	△6,345	△6,719
流動資産合計	2,802,505	3,033,730
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	81,872	139,639
工具、器具及び備品(純額)	119,321	177,612
有形固定資産合計	201,193	317,251
無形固定資産		
のれん	1,283,068	1,201,170
顧客関連資産	355,733	318,933
ソフトウェア	21,107	29,221
無形固定資産合計	1,659,909	1,549,325
投資その他の資産		
投資有価証券	40,000	40,000
差入保証金	256,844	294,640
繰延税金資産	268,444	270,446
その他	7,251	5,523
貸倒引当金	△6,295	△5,410
投資その他の資産合計	566,245	605,200
固定資産合計	2,427,347	2,471,777
資産合計	5,229,853	5,505,508

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	237	4,798
1年内返済予定の長期借入金	10,404	—
未払金	452,913	439,147
未払費用	219,412	266,857
未払法人税等	306,925	246,991
未払消費税等	114,639	79,945
前受金	255,904	259,354
その他	57,699	62,199
流動負債合計	1,418,135	1,359,295
固定負債		
長期未払費用	28,901	32,685
繰延税金負債	75,942	91,101
固定負債合計	104,843	123,787
負債合計	1,522,978	1,483,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	378,378	378,378
資本剰余金	308,028	308,028
利益剰余金	3,023,218	3,335,273
自己株式	△219	△285
株主資本合計	3,709,405	4,021,394
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△184	1,857
為替換算調整勘定	△2,345	△826
その他の包括利益累計額合計	△2,530	1,030
純資産合計	3,706,874	4,022,425
負債純資産合計	5,229,853	5,505,508

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	2,914,278	4,074,851
売上原価	1,076,530	1,384,912
売上総利益	1,837,747	2,689,938
販売費及び一般管理費	1,375,700	2,011,021
営業利益	462,046	678,917
営業外収益		
受取利息	21	22
為替差益	—	3,027
助成金収入	4,108	330
その他	—	0
営業外収益合計	4,129	3,380
営業外費用		
支払利息	57	10
為替差損	515	—
その他	0	—
営業外費用合計	572	10
経常利益	465,603	682,287
特別損失		
固定資産除却損	596	183
特別損失合計	596	183
税金等調整前四半期純利益	465,007	682,103
法人税、住民税及び事業税	152,310	226,411
法人税等調整額	△7,532	12,256
法人税等合計	144,777	238,667
四半期純利益	320,230	443,436
親会社株主に帰属する四半期純利益	320,230	443,436

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	320,230	443,436
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	672	2,042
為替換算調整勘定	360	1,518
その他の包括利益合計	1,033	3,560
四半期包括利益	321,263	446,996
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	321,263	446,996

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	465,007	682,103
減価償却費	32,569	80,667
のれん償却額	—	81,897
貸倒引当金の増減額(△は減少)	914	△511
受取利息	△21	△22
支払利息	57	10
為替差損益(△は益)	△242	△740
固定資産除却損	596	183
売上債権の増減額(△は増加)	△58,613	△87,201
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,128	426
仕入債務の増減額(△は減少)	△71	4,561
未払金の増減額(△は減少)	△67,373	△56,251
未払費用の増減額(△は減少)	38,437	47,294
その他	7,004	△66,701
小計	414,137	685,717
利息及び配当金の受取額	21	22
利息の支払額	△57	△10
法人税等の支払額	△163,570	△287,886
営業活動によるキャッシュ・フロー	250,530	397,842
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△132,808	△113,832
無形固定資産の取得による支出	△4,327	△11,857
差入保証金の差入による支出	△2,742	△61,231
差入保証金の回収による収入	78,929	1,486
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,949	△185,434
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△12,504	△10,404
自己株式の取得による支出	△70	△65
配当金の支払額	△88,342	△131,380
財務活動によるキャッシュ・フロー	△100,916	△141,850
現金及び現金同等物に係る換算差額	522	3,299
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	89,186	73,857
現金及び現金同等物の期首残高	2,316,566	1,719,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,405,753	1,793,033

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,131,139	783,138	2,914,278	2,914,278
計	2,131,139	783,138	2,914,278	2,914,278
セグメント利益	417,403	44,643	462,046	462,046

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,119,582	955,269	4,074,851	—	4,074,851
セグメント間の内部売上高又は振替高	52	8,240	8,292	△8,292	—
計	3,119,634	963,509	4,083,144	△8,292	4,074,851
セグメント利益	577,213	101,704	678,917	—	678,917

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。